

2017年4月入職

わたなべみさと  
渡邊美里

## ベッドサイドでの傾聴で、患者さまに寄り添う

### 患者さまの本当のお気持ちを伺うために

以前は大学病院での勤務だったため、患者さまとゆっくりと話す時間がなく、不安や悩みなどを汲み取りきれないことに日々葛藤を抱えていました。しかし善仁会に入職し、クリニックに勤務し始めてからは、患者さまとの距離も近く、密なコミュニケーションを取ることができるようになりました。そして、お話しするのが純粋に楽しく、つつい夢中になって話し込んでしまうことも珍しくありません。

そんな私が日々心がけているのは、積極的に患者さまのベッドサイドまで行ってお声がけすることです。ベッドサイドで傾聴を行うようになってからは、物理的な距離が近づくことで心理的な距離も近くなったように感じます。実際に患者さまからお声を掛けてもらえる機会が増えました。本当は寒かったり、体勢が辛い時でも、自分から要望を言い出せない患者さまも少なくありません。お側まで行ってお声がけすることで、患者さまが本当に望んでいることは何かを汲み取るように心がけているので、患者さまからは、「本当はお願いしづらかったから、声をかけてくださって助かりました」と仰っていただけることが増え、とても励みになっています。

### 新しい世界、広い視野を持ってさらなるチャレンジを



今回私が思いやりエキスパートにチャレンジするのを後押ししてくださった上長も、思いやりエキスパート認定を受けている方で、常にいきいきと働いていらっしゃる姿が印象的でした。現状に満足するのではなく、次の高みを目指そうと思えたのは、個々の成長を支援する取り組みを、善仁会グループ全体で推進しているからです。思いやりエキスパート研修を終えた今は、自分にとって新しい世界が開けた感覚があります。透析の技術についてはもちろん、

笑顔や挨拶、傾聴力においても、まだまだ成長しなければならない余地があることがわかったので、これからはコミュニケーションの質をより高め、患者さまとの距離をもっともっと縮めていきたいと思っています。



笑顔と思いやりを大切に  
患者さまに寄り添った  
看護をしてまいります  
渡邊美里